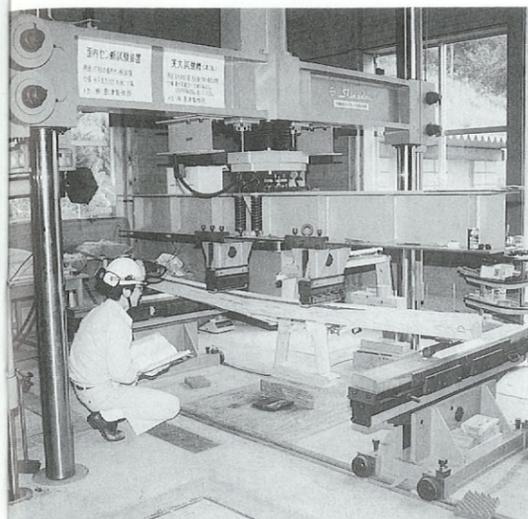


地球にやさしい環境を守り、自然を愛する心を育む

熊本県林業研究指導所・熊本県鳥獣保護センター

地下水保全やオゾン層破壊問題など、数々の環境問題が取りざたされている今日、森の働きや自然の大切さが問われています。県では、人々の暮らしに欠くことのできない森林の育成や林産加工技術の研究開発などに取り組みほか、自然に親しみ、理解を深めていただくための場を開放しています。



木材の強度試験

● 林業の研究開発拠点

熊本県林業研究指導所

昭和三十七年四月、林業に関する試験研究及び普及指導機関として、熊本市清水町万石に設置された熊本県林業研究指導所。昭和五十三年十月、熊本市黒髪緑あふれる立田山中腹に移転しました。

③酸性雨による森林被害のモニタリング事業 ④建築材に使用する県産スギ、ヒノキなどの強度試験 ⑤木材乾燥装置を使った木材の乾燥技術の開発 ⑥食用きのこの栽培技術に関する研究など、育林環境から林産加工まで、幅広い試験研究を行っています。

昭和六十一年度から取り組んでいるバイオテクノロジーを利用した組織培養は、クヌギやサクラなど、優良な苗木を大量に増やし、樹木の大量増殖や品種改良を目的としています。一つの

種から最高六十本もの苗が出たことも。種子やさし木、つぎ木で一木一本育てていた樹木も、この新技術により大量に増え、成長も早くなるわけです。また、台風十九号で倒れた風倒木をもとに、風害に強い森林の造成研究、街路樹の調査など、県民の皆さんにも親しみ深い研究も行っていきます。このように、常に新しい技術の研究、開発に努めています。

継者に対する林業教室、林業研究グループリーダー研修を行っています。女性林業者の経営参画を促したり、林業普及指導員の資質向上にも努めています。

合などの関係者に対し、研究発表会を開催するなど、林業経営の安定に役立っています。

● 森に親しみ、自然に触れる

熊本県鳥獣保護センター

上益城郡御船町・飯田山のふもとにある熊本県鳥獣保護センター（くまもと野鳥の森）

は、県民の皆さんに愛鳥思想の普及啓発を図り、自然に親しんでいただく場として設置されました。二〇・七畧の広大な敷地には、クヌギ、コナラ、ヤマモモなど実なる広葉樹林が覆い、ヒヨドリ、ホオジロ、コガモなど、数十種類の野鳥が生息しています。約三千坪の探

鳥路は、野鳥の声や姿を楽しみながら自然と触れ合うことができます。このほかに、カモなどの水鳥を観察できる「水鳥の池」、「実のなる木見本園」、肥後六花が植えられた「肥後名花園」などがあります。

本館一階には、写真パネルやはく製などで野鳥の生態を学べる展示室、鳥獣に関する図書や資料を集めた図書室、二階には、野鳥を観察できる展望室、野鳥の映画などを見ることができ、研究室があります。本館横の救護舎では、県内各地で保護された傷病鳥獣の救護を行っています。



県鳥獣保護センター

このほか、グリーンワーカー研修プロセッサーやタワーヤーダなどの高性能林業機械の操作技術を学ぶ実地研修も定期的に行っています。また、研究成果や技術情報を有効に活用するため、林家や森林組

県林業研究指導所

林業の研究開発拠点

林業のカウンセラー

熊本県林業研究指導所

林業に関する試験研究のほか、研修会を開催したり、育林や林業経営など林業に関するいろいろな相談に応じています。

企画調査部

- 試験研究と普及指導の総合調整
- 試験研究成果の広報
- 実験林、試験林の管理
- 林業関係情報の収集、整理
- 林業相談

育林環境部

- 林木育種
 - 育林
 - 森林保護
 - 森林土壌
 - 森林環境保全
 - 林業経営
- …例えば、バイオテクノロジー技術を駆使したクヌギの種苗増殖研究、酸性雨等森林被害モニタリング事業などを行っています。

に関する研究

林産加工部

- 木材の強度
 - 木材の乾燥
 - 木質材料
 - 木材商品開発、改良
 - 特用林産物の生産、加工技術
- …例えば、台風19号の被害木の材質研究、野生きのこの栽培化に関する研究などを行っています。

に関する研究

普及指導部

- 林業技術職員、林業後継者の育成指導
 - 林業技能講習、林業機械の研修
 - 林業技術研修センターの運営
- お問い合わせは
☎ (096) 339-2221
FAX (096) 338-3508